

		1月	2月	3月
収入	近藤恵宣教師指定	229,300	211,220	169,800
	雑収入	0	193	0
	前月繰越金	2,279,955	2,058,483	2,247,496
	合計	2,509,255	2,269,896	2,417,296
支出	近藤恵宣教師支援金※	409,152	0	0
	年金・支える会経費	19,620	1,400	830
	LMJ事務局費	22,000	21,000	16,000
	次月繰越金	2,058,483	2,247,496	2,400,466
	合計	2,509,255	2,269,896	2,417,296

※宣教師支援金は必要に応じて随時送金しています。

献金者お名前

(教会) 泉キリスト教会、岩井キリスト教会、大泉聖書教会、かもい聖書教会、観音寺聖書教会、行田カベナント教会、興戸キリスト教会、自治医大前キリスト教会、下館キリスト教会、湘南ライフタウンキリスト教会、菅生キリスト教会、橋本キリスト教会、蓮田キリスト教会、八王子みなみ野キリスト教会、東村山キリスト教会、日立福音キリスト教会、本郷台キリスト教会、前橋キリスト教会、水戸下市キリスト教会、宮崎北聖書キリスト教会、みらい平キリスト教会、横浜永谷キリスト教会、横浜緑園キリスト教会

(個人) 阿部徳子、有山敏・教子、池田百合子、御澤雅江、國井昭男、斉藤眞木子、佐藤丈史、塩澤幹雄、芝田寛二・正子、添田毬子、武田香、田中泉、田中美智子、鶴木悠紀子、中井靖子、奈良崎満・直子、三浦健治、光畑京子、米谷信雄、自治医大前キリスト教会個人、匿名(敬称略)

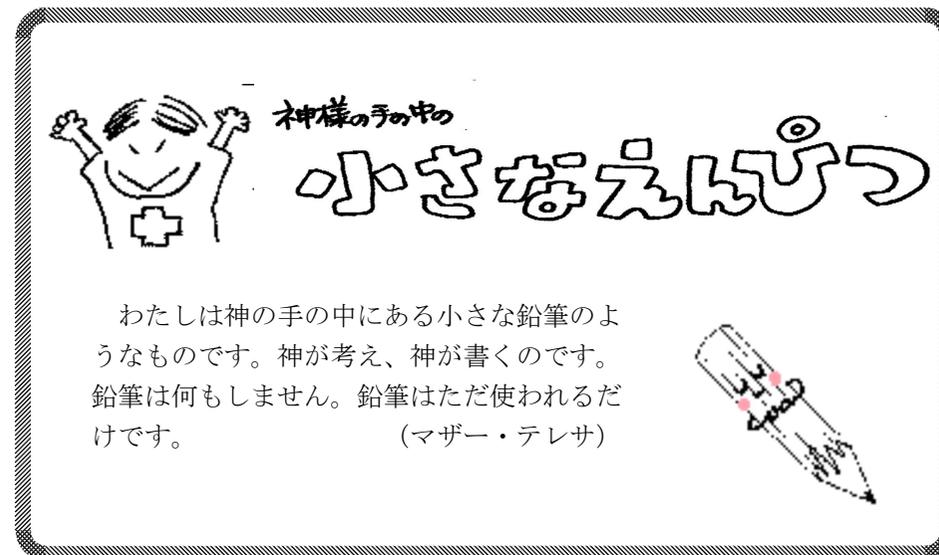
尊い献金をありがとうございました。

### 編集後記

バングラデシュの兄弟姉妹が日本のために祈ってくださっていること、心から感謝いたします。目に見えない放射線への不安が日常生活を脅かし、日本ばかりか世界中が恐れ、おびえています。私たちは今、謙虚に神の前にひざまづきましょう。どんなことがあっても、感謝しながら。(ひ)

苦難の日にはわたしを呼び求めよ。  
わたしはあなたを助け出そう。  
あなたはわたしをあがめよう。(詩篇50:15)

連絡先: 〒329-0403  
栃木県下野市医大前3-7-1  
近藤恵宣教師を支える会  
(自治医大前キリスト教会内)  
Tel&Fax:0285-44-7564  
ホームページ  
<http://homepage3.nifty.com/meg/>  
E-mail:meg0\_02007@yahoo.co.jp  
郵便振替払込  
口座番号:00110-1 番号:91993  
加入者名:LMI世界宣教会



わたしは神の手の中にある小さな鉛筆のようなものです。神が考え、神が書くのです。鉛筆は何もしません。鉛筆はただ使われるだけです。(マザー・テレサ)

彼は、不信仰によって神の約束を疑うようなことをせず、反対に、信仰がますます強くなって、神に栄光を帰し、神には約束されたことを成就する力があることを堅く信じました。

(ローマ人への手紙5:20~21)

遅ればせながら、イースターおめでとうでございます。大変な日本にも春が来ていることでしょう。被災地の方々はもちろん、そうではないところの方々もあまりに大きな重荷にあえいでいらっしゃるのではないかと、想像します。十字架にかかって死なれた主がよみがえるという、大勝利をもたらされた神様が、うちのめされた日本にどんな大きなことをしてくださるのか、期待します。

ここバングラデシュは、もう30度を超えています。生い茂った若葉を見上げる時、ここでも主が支配してくださっている幸せを感じます。

## 世界の各地から祈られています

3月11日の大震災のすぐあとに、トロントからメールが届きました。トロントの教会の友達、インドネシア系中国人のジェニファーと英語学校の先生ジーニーからです。私の家族の安否を確認したあと、日本のために祈ってくれると約束してくれました。そのあとも、スイスから、ドイツから、スペインから日本のみなさんを心配し、祈ってますというメールが届いています。

バングラデシュの南、クルナで働いている同僚、レギーネからは、Children Village（恵まれない子どもたちの寄宿舎のようなところ）でも、子どもたちが祈ってますというメールがきました。ダッカのインターナショナル・チャーチでは日本のために祈る時が持たれ、このバングラデシュで驚くような献金がささげられました。

## ウットム・ウットム

病院で私は、週に少なくとも3日は朝から夕方まで手術室で働いています。胆石症や虫垂炎、ヘルニア、帝王切開、時に乳がんの手術などを行っています。またこの間は、この病院ではなかなか手を出していなかった小腸切除をしました。そけいヘルニアで、脱出していた小腸がすでに壊死に陥っていたためです。今までは、こういう症例は、車で2時間くらいかかるマイメンシンの病院に送っていたようです。

こうやって1日中手術室で働くために、朝食はしっかり食べています（途中で軽食も食べますが）。毎朝、聖書を読む時間と祈る時間は、確保しようとしています。時間が無い日は、聖書を読む時間を夜に回します。でも、朝食はかならず摂っています。こんな時、次のみことばが目にとまりました。



▲近藤宣教師が帝王切開で取り上げた新生児

「しかし、サウルと彼の民は、アガグと、それに、肥えた羊や牛の最も良いもの、子羊とすべての最も良いものを惜しみ、これらを聖絶するのを好まず、ただ、つまらない、値打ちのないものだけを聖絶した」

（第1サムエル15：9）

これを読んで、私もサウルのように、最も良いものを主にささげずに、時間があれば聖書を読むというように、つまらないものだけをささげていたんだなあと思いました。このことを、毎朝の病院のPrayer Meetingで、ショートメッセージとしてベンガル語で話しました。私たちは、最も良いものを、主にささげなくちゃいけないというメッセージです。この日最後に祈ってくださった方は、ウットム・ウットム（最も良いという意味です）ということばを、何回も祈りの中で使いました。私の心にも、みんなの心にも、ウットム・ウットムということばが、しみ込んだと思います。

## 「指は切った方がいい」

アネシャは、左の人差し指を腫らせてやってきました。一部、皮膚が黒くなって、壊死に陥っています。まだ20歳そこそこの女性ですが、糖尿病があり、ひどい高血糖です。壊死組織を切除しつつ、糖尿病のコントロールをしようとしています。なかなかうまくいきません。血糖を1日に何回も測ることはできないので、難しいのです。できれば切断は避けたいのですが、決断しなければいけない時が来るでしょう。

「お金がないの。指は切った方がいい」と彼女が言いました。病院に入院している時間が長くなると、お金が足りなくなります。彼女にとっては、切断して早く退院できた方が幸せかもしれません。彼女のために、お祈りください。

## Prayer request

1. ベンガル語でのコミュニケーションのために。
2. 病院で必要な働きができるように。
3. 派遣教会の自治医大前キリスト教会のために。
4. 母と姉の救いのために。